

つながる すみだ人

私の好きな すみだ

今月の1枚

「寒緋桜とスカイツリー」

【撮影】阿部美智子さん

本コーナーへの写真を随時募集しています。詳細は今号3面をご覧ください。

【問合せ】広報広聴担当 ☎5608-6223



小林美津子さん(立花在住)

すみだを愛し、すみだで活躍する人をリレー形式で紹介する「つながる すみだ人」。お話を伺った方に次の方を紹介していただき、すみだを愛する人をつないでいきます。第69回は、立花四丁目町会の老人クラブ「四丁目友の会」の副会長と会計、墨田区老人クラブ連合会(以下、墨老連)の女性委員会の副委員長を務める小林美津子さんです。

Q. すみだでどのような活動をしていますか？

立花四丁目町会の老人クラブ「四丁目友の会」の副会長と会計、会報作りを担当しています。また、墨老連の女性委員会の副委員長も務めていて、どちらの組織でも、地域の様々な活動に携わっています。

墨老連の女性委員は活動の幅が広いんです。例えば、年に1回都内の老人クラブが集まる「シニア健康フェスタ東京」というイベント。そこで各老人ク

ラブがレクダンスを2曲披露しますが、それに向けて近隣区の老人クラブとの合同練習に参加したり、覚えた踊りを会員の皆さんに教えたりしています。「四丁目友の会」でも踊りを披露する機会があるので、たくさん覚えるのはなかなか大変ですね。ほかにも、地域の小物作り教室にお手伝いで参加するなど、とにかく外に出ることが多いんです。忙しいですが、毎日とても楽しく過ごしています。

Q. 現在の活動を始めたきっかけは何ですか？

私は29歳から立花四丁目町会の役員を務めているんです。義理の両親のお店を手伝っていたこともあり、地域の方に顔を知ってもらえる機会が多く、役員に誘われました。「四丁目友の会」が立ち上がった当初は普通の会員として参加していましたが、女性の役員が少なかったことや町会での経験もあって推薦していただき、もう10年以上、「四丁目友の会」でも役員として活動しています。

立花四丁目町会は、お祭りの時に香取と白髭の2つの地域に分かれてしまうので、盆踊りくらいは一緒にやりたいという声があったんです。そこ

で、先代の婦人部長さんが町会全体で夏休みに盆踊りを披露する場を作ってくれました。ここには、大人だけでなく子どもたちも参加してくれています。私は、先代の苦勞と築いてくれたものを大切にしたいという思いで、月に一度踊りを練習するための盆踊り教室を立ち上げました。昔からあるものを大事に受け継ぎながら、みんなで協力して地域を盛り上げたいと感じますね。そして、老人クラブが活動的で楽しい場だということも知ってもらえたらうれしいです。私にとっても、元気の源になっています。

Q. 小林さんは、すみだのどんなところが好きですか？

下町人情があって、面倒見のいい人がたくさんいるところがすてきですね。また、昔ながらの良さがありながら、新しい魅力もあるところがすみだの好きなところで、特に東京スカイツリー®があるのは自慢の1つです。私が子どもの

頃は、東京タワーや新幹線ができた時代で、新しいものに触れるのが楽しかった思い出があります。だからこそ、自分が住む場所に世界一高い電波塔である東京スカイツリー®ができた時は、本当にうれしかったですね。

▶ 去年の「シニア健康フェスタ東京」の集合写真です。オリジナルの振り付けで踊りました。



◀ 地域の老人クラブが集まって行う式典に参加しました。「四丁目友の会」の会員でおそろいの衣装を着て踊りました。

次回登場してくださるのは・・・

民生委員を務めるほか、地域の様々な活動に携わる本多未智世さんです。

【問合せ】広報広聴担当 ☎5608-6223



夢

令和8年度は、すみだの未来を切り拓く初年度に!

墨田区長

山本 亨

新たな墨田区基本計画の策定に向け、子どもたちが「これからの墨田区」について考えるきっかけになるよう、「10年後も住みたいまち」をテーマとした「未来のすみだ絵画コンクール」を開催しました。夢が溢れる作品を応募してくれた子どもたちに、心から感謝を申し上げます。

応募された力作の中から3つの優秀作品が選ばれ、先日、表彰式を行いました。当日は、受賞した3人にどんな思いを絵に込めたかなどを聞きながら、「未来のすみだ」を一緒に想像するとても楽しいひとときになりました。将来を担う子どもたちが、いつまでも住み続けたいと思うまちを実現できるよう、区としても取組を更に加速していきます。

そんな中、2月の区議会定例会にて、令和8年度の区政運営の考え方を示す「施政方針説明」を行いました。来年度は、新たな基本構想と基本計画に基づき、10年先を見据えた「すみだの未来を切り拓いていく」初年度と位置付けました。「これまで」と「これから」をつなぐ、人が主役のまちづくり「暮らし続けたい・働き続けたい・訪れたいまちの実現」「社会の変化に柔軟に対応していくための行政サービスの改革」という3つの柱に沿って区政運営を進めていきます。

この考え方を基に、令和8年度予算を取りまとめました。区主催では23区初となる総合的芸術祭「すみだ五彩の芸術祭」をはじめ、様々な取組を着実に進めていきます。概要は今号1面で

も紹介していますので、ぜひご覧ください。

基本構想に掲げる「人がつながり 夢をカタチに 墨田区」をキャッチフレーズに、すみだの「夢」実現に向けて全力で取り組みますので、皆様のご理解とご協力をよろしくお願い申し上げます。



「未来のすみだ絵画コンクール」受賞者の皆さんと

